

設 立 趣 旨 書

近年、子どもたちを取り巻く環境は、少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化、教育や子育てに関する課題の多様化などがあり大きく変化しています。

こうした状況の中で、子どもたちの健やかな成長を支える環境の維持・発展には、家庭・学校・地域が連携し、協力して取り組むことが求められています。

川崎市では、文部科学省からの委託により学校教育と社会教育の連携を目指した住民自治の教育参加組織として「地域教育会議」が設置され、「中学校区地域教育会議」では、PTA経験者や町内会理事などが主体となって学校の運営や活動を支援するとともに、地域における子育て支援や学校と地域の協働を推進、学校を核とした地域づくりや地域ネットワークの活性化を行っています。

また子どもの意見を尊重し、まちづくりに活かすことを目的に「子どもの権利条例」を定めており、この理念を具体的に実現する取り組みの一つに「子ども会議」というものがあります。子ども会議では、まちづくりや学校生活の改善など身の回りの問題について議論することで、地域の未来を担う子どもたちが、より良いまちづくりを考える貴重な場となり、その意見を聞くことで大人も地域の課題に気づく機会となります。

私たちはこれまで、野川中学校区地域教育会議の一員として家庭・学校・地域を繋ぐ活動を行ってきており、2025年1月には野川地区で初の子ども会議（ワクワク感を出すために『野川子ども“夢、会議”』と命名）を開催しました。これは子どもたちが、やってみたい、変えたいと思う事を自由に話し合い、友だちや仲間を作るための場を作るための企画でした。この会議のなかで「小中学校4校の子どもたちが中心となりお祭り（野川フェス）を実施する」という夢が生まれました。

また、地域教育会議・子ども会議に加え、私たちは子どもが自らの可能性を信じ、挑戦し、成長できる環境を新たに整えることで子どもたち自身が地域課題に取り組む意識を持つことができるようになり、ひいては、地域の大人と協力して課題解決に取り組み、すべての住民が安心して暮らせるまちづくりにつながり、そして家庭・学校・地域が連携できる関係づくりにもなると考えています。

そのために、今後、子どもたちを応援する地域の大人と交流ができる場所づくり、各コミュニティと連携して子どもたちを支えるネットワークの構築及び地域団体や行政との連携による防犯・防災対策活動の推進に取り組む必要性があると考えております。

このような事業を推進するために、自らの意思で改善に取り組んでいく新たな活動団体の立ち上げを決め、賛同してもらえるメンバーも揃いました。

子どもたちが自分の夢に向かって努力できる環境を整える活動を通じて、地域社会全体の活性化にもつながっていきます。子どもたちの成長を支えることは、未来の地域を支えることにもなります。私たちは、この活動を通じて、「子どもたちが夢を持ち、その夢を実現できる社会」「家庭・学校・地域が一体となって子どもを支えるまち」を実現することを目指していき、この理念に賛同し、ともに活動する仲間とともに、持続可能な地域づくりに貢献していきます。

この活動が、代表者個人に依存することなく組織的な運営をするため、営利ではなく社会貢献を目的としていることを確立するため、また将来に渡り継続できるようNPO法人対象の助成金を得るためにもNPO法人を設立することを目指しております。

以上の趣旨に基づき、特定非営利活動法人を設立します。

2025年3月13日

法人の名称 NPO法人のがわドリームプロジェクト

設立代表者 平野 洋一